

令和4年度2月補正予算(第10号)案の概要

令和5年2月
宮城県

I 予算編成の考え方

- 今回の補正予算は、軽症者等宿泊療養施設の確保や自宅療養者等への支援など療養体制の整備に要する経費を計上するとともに、医療機関等に対する設備整備への助成や緊急小口資金等の特例貸付に関する債権管理事務費の助成に要する経費を予算化
- また、マイナンバーカードの普及促進に向けた経費を計上するとともに、新たに企業版ふるさと納税基金を設置し寄附金の活用事業に要する経費を積立
- このほか、所要額の精査や事業の執行状況、財源の確定見込み等を踏まえて計数整理を行うとともに、将来見込まれる財政負担に備えて特定目的基金への積立を行い、残高を確保
- 歳入予算では、県税や地方譲与税、地方交付税などを増額する一方、将来的な財政負担を軽減するため行政改革推進債の発行を抑制

II 予算規模

(単位：百万円、%)

区 分	令和3年度 最終予算額 A	令和4年度予算額			増減率 (B-A)/A
		現計予算額	今回補正額	補正後予算額 B	
一 般 会 計	1,235,763	1,278,633	△ 33,711	1,244,922	0.7
うち 震災対応分	52,492	30,712	△ 3,301	27,411	△ 47.8
特 別 会 計	412,503	431,670	14,005	445,675	8.0
うち 震災対応分	2,602	3,886	△ 1,326	2,559	△ 1.6
準公営企業会計	7,281	7,240	△ 178	7,061	△ 3.0
うち 震災対応分	120	96	△ 1	96	△ 20.3
公 営 企 業 会 計	43,695	37,235	△ 3,337	33,898	△ 22.4
うち 震災対応分	108	30		30	△ 72.0
計 (総会計)	1,699,243	1,754,778	△ 23,221	1,731,556	1.9
うち 震災対応分	55,321	34,724	△ 4,628	30,096	△ 45.6

※四捨五入のため積上げと計が一致しない箇所がある

(参考)

平成22年度以降の震災対応予算の累計は、6兆5,648億円(総会計)

※平成22年度から令和3年度は最終予算額、令和4年度は2月補正予算(第10号)後現計の累計